



2022年度2月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

2月は立春を迎え暦の上ではもう春ですね。厳しい寒さが続く毎日ですが、その中でも暖かい陽射しを感じたり、球根の芽が顔を出したり、さまざまな子どもたちの小さな気付きから、春が近づいてくるのを感じます。このうさぎ組保育室で過ごすことも残りわずかになりましたね…。これまで以上に1日1日を大切に、季節感やこの時期ならではの活動を取り入れ楽しく過ごしていきたいと思ひます



おにの制作

節分に向けてうさぎ組では鬼のお面を作りました。普段から「まめまき」の絵本が好きで読んでいる子どもたち。おにさん作ろうと提案すると「やったー！」と元気にこたえてくれ、「おにはそとー♪」と歌う子もいました。のりを使って三角の画用紙を貼るとすてきな鬼の角に！ピンク、黄色、緑のお花紙から好きな色を選んで両手で丸めると「おにぎり、ぎゅっぎゅ」とおにぎりを思い浮かべる子もいました。目を貼ってもらう前に「みんなの目はどこにあるかな？」と聞くと嬉しそうに自分の目の位置を確認し画用紙に貼りました！カラフルで個性豊かなとてもかわいい鬼が出来上がりました！

子どもたちの様子

年が明けてからのうさぎ組のこどもたちは、じぶんでやりたいという気持ちがより出てきています。靴下も好きな柄があるようで自分で選んで履いてみたり、「やってー」とお願いしたりしています。靴を履いているときには友だちと手を繋ぐのを楽しみにしている姿があります。お散歩では散歩車を使わずしっかりと自分の足で歩く日が増えてきました。4月に比べとても体力がついてきましたね。歩いている時に「さんぽ」や「はたらくるま」など誰かが歌いだすとみんなで一緒に歌っている子どもたち。今まで田島公園やふれあい公園に行っていましたが新田神社にも歩いて行きました。いつもと違う神社の中で「きゃー」と嬉しそうに走り回ったり、落ち葉の山にジャンプしてみたりと元気に体を動かしていました。

室内あそびではままごとが流行っており細長いブロックをフォークに見立てごはんを食べたり、食材をお鍋に入れ「ぐつぐつ」と料理をしたりして楽しんでいます！出来上がった料理が熱いと「あちち」といってふーふーと冷ます姿がとても可愛らいうさぎ組です。



～今月の手遊び～

まめまき

おにはそと ふくはうち
ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ まめのおと
おには こっそり にげていく
おにはそと ふくはうち
ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ まめのおと
はやく おはいいり ふくのかみ